



分からないときは  
〈ヒント〉を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 養蚕の歴史を新聞にまとめる。
- 2 木に穴を開ける。
- 3 絹のようななめらかさ。
- 4 我を忘れて大声でさげぶ。
- 5 親から子へ遺伝する。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 あまおとが楽しげに響く。
- 2 しゅどうでブレーキをかける。
- 3 りよつか運動に参加する。
- 4 マラソン大会でかんそうする。
- 5 きょうつうしていることを探す。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「養」は「養成」と同じ読みだよ。「蚕」は、「さ〇」と音読みするよ。
- 2 「穴」を開けるときは、きりやドリルを使うね。
- 3 英語では「シルク」と言うよ。
- 4 「わたしたち」のことを「我々」と言うよ。
- 5 「遺伝」とは、「親のもっている特質が、その子孫に伝わること」だよ。
- 二 1 「あめ」がふる「おと」のことだよ。
- 2 「て」で「うごかすこと」だよ。
- 3 「りよつか運動」は、「草木を植えて、みどりの土地を増やす運動」のことだよ。
- 4 「かんそう」は、「最後まではしりきること」だよ。
- 5 「きょう」は「男女きょう学」、「つう」は「交つう」と同じ漢字だよ。

少しずつでも着実に！



第 学年 組 番 名前

分からないときは  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 私腹を肥やすのはよくない。
- 2 水分を吸収する。
- 3 砂糖にアリが集まる。
- 4 安全を保障する。
- 5 力を発揮する。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

- 1 詩をあんしようする。
- 2 雨でも試合をぞっこうする。
- 3 午後七時にゆうはんを食べる。
- 4 本のふろくが気に入る。
- 5 こなぐすりを飲む。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 「私腹を肥やす」は「立場を悪用して自分の利益をふやすこと」だよ。
  - 2 「吸」は「呼吸」、「収」は「収入」と同じ読みだよ。
  - 3 「砂糖」はあまいよ。
  - 4 同じ読みをするものに「保証」があるよ。
  - 5 「発」は「発見」、「揮」は「指揮」と同じ読みだよ。
- 二
- 1 「あん」の訓読みは「くら（い）」、「しょう」の訓読みは「どな（える）」だよ。
  - 2 「ぞっこう」は、「つづけておこなうこと」だよ。
  - 3 「ゆうはん」は、「ゆうがたに食べるごはん」だよ。
  - 4 買ったものに「ふろく」がついていると、得した気分になるね。
  - 5 「こな」は「米（こめへん）」と「分」を組み合わせるよ。

分からなかったところは  
くり返しするといいいよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは  
「ヒント」を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 児童会の役員に就任する。
- 2 後ろ姿を見ただけでA先生だと分かる。
- 3 聖火リレーが行われる。
- 4 数人の話を一度に聞くのは至難の技だ。
- 5 対策を練る。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましよう。

- 1 妹とほちようを合わせる。
- 2 よくしつのそうじをする。
- 3 教科書のれいだいを解く。
- 4 じつえんを見て関心をもつ。
- 5 かいせいの中で運動会が開かれる。

5	4	3	2	1

「ヒント」

- 一 1 「就」は「就職」、「任」は「任命」と同じ読みだよ。
- 2 「姿」には、「物の形」という意味があつて、「富士山の美しい姿」という言い方をするよ。
- 3 「火」は「ひ」と読んではいけないよ。
- 4 「至」は「至急」と同じ読みだよ。
- 5 「テスト対策」という言葉があるよね。
- 二 1 「ほちよう」は、「あるくときのちようし」だよ。
- 2 「よくしつ」は「ふる場」のことだよ。「よく」は「あ(びる)」という漢字だよ。
- 3 「れい」は「にんべん」と「列」を組み合わせるよ。
- 4 「じつえん」は、「じつさいにえんじる」と「だ」だよ。
- 5 雲がなく、すっきりとはれわたることだよ。



分からないときは  
ヒントを見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 人前で歌うには度胸が必要だ。
- 2 布を裁断する。
- 3 泉のように新しい案がわき出る。
- 4 安全装置を備える。
- 5 来ひんを警護する。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましょう。

- 1 水がぎやくりゆうする。
- 2 コンクールへもうしこむ。
- 3 中庭に大木がうえられている。
- 4 しんやに窓を開けて星を見る。
- 5 体をそらしてボールをよける。

5	4	3	2	1

ヒント

- 一 「度胸」は、「物事に動じない強い気持ち」だよ。
  - 二 「裁」は「裁判」と、「断」は「決断」と同じ読みだよ。
  - 三 「泉」は、「地中から自然に水がわき出る場所やその水」だよ。
  - 四 「装」は「装着」と、「置」は「配置」と同じ読みだよ。
  - 五 「警」は「警察」と、「護」は「保護」と同じ読みだよ。
- 二
- 一 「ぎやく」の部首は「しん」よう（しんにゅう）。「りゆう」の部首は「さんずい」だよ。
  - 二 「暑中お見まいもうしあげます」と同じ漢字だよ。
  - 三 「木」と「直」の組み合わせだよ。
  - 四 「しん」の訓読みは「ふか（い）」、「や」の訓読みは「よる」だよ。
  - 五 「そ（らす）」は「はんたい」の「はん」と同じ漢字だよ。



分からないときは  
「ヒント」を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

1 針に糸を通す。

2 文書に署名する。

3 宅配便を受け取る。

4 欠点を補う努力する。

5 山盛りにする。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましよう。

1 しゃこのある家。

2 列のせんとうに立つ。

3 とうあん用紙に正しく書く。

4 トンネルがかいつうする。

5 検定試験にうかる。

5	4	3	2	1

「ヒント」

一 糸通しを使うと、簡単に針に糸を通すことができるよ。

2 「署」は「消防署」と同じ読みだよ。

3 「宅配便」を使うと、自宅や指定した届け先に物を届けてくれるよ。

4 「不足しているところを補うこと」を「補足」と言うよ。

5 「大盛り」と同じ読みだよ。

二 1 「しゃ」の訓読みは「くるま」だよ。「こ」の漢字にも「くるま」が入るよ。

2 「せん」の訓読みは「さき」、「とう」の訓読みは「あたま」だよ。

3 「とうあん」は「こた(え)」のことだよ。

4 「かいつう」は、「道路や鉄道などが完成してつうじること」だよ。

5 「試験をうける」と同じ漢字だよ。

言葉の知識は、きみの財産になるよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 様々なサイクリングコースが存在する。
  - 2 意欲をもつて取り組む。
  - 3 お店が臨時休業になる。
  - 4 税金を納める。
  - 5 悲しい出来事に心を痛める。
- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましよう。

- 1 傷口をしようどくする。
  - 2 しめ切りに間に合うようにそくたつで送る。
  - 3 座席をしていする。
  - 4 たいとうな関係を築く。
  - 5 校長先生とのめんせつに臨む。
- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|   |   |   |   |   |

〈ヒント〉

- 一 「存」は「存続」と、「在」は「現在」と同じ読みだよ。
- 2 「意」は「意見」と、「欲」は「食欲」と同じ読みだよ。
- 3 「臨時休業」は、「予定していなかった休み（定休日以外の休み）のこと」だよ。
- 4 「修める」「収める」「治める」と同じ読みだよ。
- 5 けがをすると「痛い」よね。
- 二 1 「しようどく」は「どくをけすこと」だよ。
- 2 「そくたつ」は、ふつうの郵便よりも早くはいたつすることができるよ。
- 3 「し」の訓読みは「ゆび」、「てい」の訓読みは「さだ（める）」だよ。
- 4 「たいとう」は、「たがいに差がない状態のこと」だよ。
- 5 「めん」は「へいめん」と、「せつ」は「せつぞく」と同じ漢字だよ。

文脈で意味も考えよう！



分からないときは  
ヒントを見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

1 目的地までの電車の運賃を調べる。

2 飛行機を操縦する。

3 多くの宗派がある。

4 若葉がしげる。

5 寒暖の差が激しい。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

1 さいきんのできごとを話す。

2 級友の意見をさんこうにする。

3 役員をじにんする。

4 しょくどうでご飯を食べる。

5 しょうとう時間を決める。

5	4	3	2	1

### ヒント

一 「運」は「運転」と、「賃」は「賃金」と同じ読みだよ。

二 「操」は「操作」と、「縦」は「縦断」と同じ読みだよ。

三 「宗派」と似た意味の言葉に「流派」があるよ。「宗」は「宗教」と同じ読みだよ。

四 「若」は「若者」と同じ読みだよ。

五 「寒」も「暖」も音読みだよ。反対の意味をもつ漢字の組み合わせだね。

二 「さいきん」は、「もつともちかい」ということだよ。

一 「さん」は「さんか」と同じ漢字だよ。

二 「じ」は「じたい」と、「にん」は「にんめい」と同じ漢字だよ。

三 「どう」は「正々どうどう」と同じ漢字だよ。

四 「しょう」の訓読みは「けす」だよ。「どう」のつくり(右側)は「丁」だよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは、  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 秋になると木々が紅葉する。
- 2 待ちに待った朗報が届く。
- 3 選挙で政党を選ぶ。
- 4 片側通行の道を走る。
- 5 肺の機能を高める。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 やさいをたくさん食べる。
- 2 夏休みにがっしゅくをする。
- 3 手紙をこうひょうする。
- 4 商品のみほんを手に入れる。
- 5 勉強と遊びをりょうりつする。

5	4	3	2	1

### ヒント

- 一 「紅」は「紅茶」、「葉」は「葉脈」と同じ読み方だよ。「もみじ」と読んではいけないよ。「朗報」は、「よい知らせ」という意味だよ。「朗」は「郎」と似ていて、同じ読みだよ。「政党」は「政治団体」のことだよ。「〇〇党」という名前を聞いたことがあるよね。「片」は「片方」、「側」は「内側」と同じ読みだよ。動物の呼吸方法に、「えら呼吸」や「肺呼吸」があるよ。
- 二 「なのはな」も「やさい」の一つだね。
- 1 「がっ」は「がっしょう」と、「しゅく」は「しゅくはく」と同じ漢字だよ。「こうひょう」と似た意味の言葉に、「こうかい」があるよ。「みほん」と「てほん」は「ほん」という同じ漢字を使うけど、意味がちがうよ。「りょうほう」とも、しっかりとせいりつさせることだよ。



言葉の知識が増えると、  
読書も楽しいよ。



第 学年 組 番 名前

分からない言葉は、  
「ヒント」を見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

- 1 ルールに従って行動する。
- 2 誠実な人から。
- 3 地図の縮尺を変える。
- 4 光を反射する。
- 5 諸国を旅する。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましよう。

- 1 象のはなは長い。
- 2 かつきの意見<sup>いけん</sup>を述べる。
- 3 でんぼうが届く。
- 4 かいけい係が、お金を管理する。
- 5 月が出るほう<sup>ほう</sup>がくを調べる。

5	4	3	2	1

### 「ヒント」

- 一 1 「従う」の反対は「逆らう」だよ。
- 2 「誠」には、読みを表す「成」が入っているよ。
- 3 パソコンの画面で地図の縮尺を大きくして、愛媛県全体<sup>えひめけん</sup>を見てみよう。
- 4 光だけではなく、熱や音も物の面に当たってはね返るよ。
- 5 「諸」は「諸君」、「国」は「国語」と同じ読みだよ。
- 二 1 「自」と「田」と「井」を組み合わせた字だよ。
- 2 「がきの」と読みまちがう人がいるよ。
- 3 お祝いの「でんぼう」を「しゆくでん」と言うよ。
- 4 「かいけい」は「お金や物の出入りを計算したり、管理をしたりすること」や「代金の支払らしい」を意味するよ。
- 5 「ほう」は「ほうこう」と、「がく」は「かど」と同じ漢字だよ。



第 学年 組 番 名前

分からないときは  
ヒントを見よう。

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 勉強を優先する。
- 2 潮が満ちる。
- 3 国の存亡がかかる。
- 4 乳牛の飼育をする。
- 5 開始時間寸前に席に着く。

5	4	3	2	1

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字で書いてねいに書きましょう。

- 1 いつもつよがりを言う。
- 2 ようちゅうからさなぎになる。
- 3 かつきのある話し合いが行われる。
- 4 個人戦でしゅいに立つ。
- 5 はいしよくを考えてぬる。

5	4	3	2	1

〈ヒント〉

- 一 1 「優」は「優秀」、「先」は「先生」と同じ読みだよ。
- 2 「ちょう」と読んではいけないよ。
- 3 「存亡」は、「存在し続けるかほろびるかということ」だよ。
- 4 「牛乳」と字の順番が逆になっているけれど、それぞれの読みは変わらないよ。
- 5 「一寸先はやみ」という言葉があるよ。
- 二 1 部首は「弓（ゆみへん）」だよ。
- 2 まだおさないむしのことだよ。
- 3 「かつ」は「せいかつ」と同じ漢字だよ。つまった音になっているよ。
- 4 「しゅ」の訓読みは「くび」、「い」の訓読みは「くらい」だよ。
- 5 「はい」は「はいち」と同じ漢字だよ。「しよく」の訓読みは「いろ」だよ。